

---

2010 大会

---

# 直列型ハイブリッド制度におけるリスク分担と 年金化インセンティブの可能性

清水信広\*

## 概要

直列型ハイブリッド (SH) プランとは、積立段階は集団型拠出建て又は一時金ベースの給付建ての制度だが、積み立てた年金原資を一定時点（たとえば加入者各人の支給開始時点）で年金化し、以後は給付建て制度として運営する仕組みである。SH プランは、加入者・受給者間のリスク分担を一旦遮断した上、これを限定的な形で制御する。実質的には SH プランとなっているスイスの職域年金が終身年金の普及に成功していることから、SH プランの制度設計に関しては具体的な検討を行ってみる価値がある。本稿では、年金化の前後に集中する SH プラン特有のリスク構造を分析した上、世代間のリスク分担により、加入者個々人が負担するリスクを緩和しながら、年金化のインセンティブを与える制度設計を検討する。特に、長生きリスクプールの最適なスタート年齢については、年金化を促進する観点から、定量的な分析に基づき具体的な提案を行う。SH プランは、制度運営リスクを積立段階に閉じ込め、加入者間の適切なリスク分担及び DC プランとの連携によって、老後の所得確保に係るリスクを低コストでカバーする、わが国にとって有用な仕組みとなり得る。

**キーワード：**直列型ハイブリッド、農業者年金、スイスの職域年金、リスク分担、年金化、終身年金

## 1 はじめに

直列型ハイブリッドプラン（以下、SH プラン）とは、積立段階は個人勘定付きの集団型拠出建て (CDC) 制度又は一時金ベースの給付建て制度として運営し、積み立てた年金原資を一定時点（たとえば加入者各人の支給開始年齢）で年金化、その後は給付建て (DB) 制度に移行する仕組みである。この制度は、第 2 節で述べるように、DB プランの亜種として開発されたキャッシュバランス (CB) プランとは設計思想を異にするものであり、わが国では、これまでのところ、農林水産省が所管する農業者年

金（新制度）においてのみ認められている。

類似の仕組みとしては、(社) 日本年金数理人会の委員会が 2009 年に提案した運用指標連動型の確定給付制度 (BR 制度) がある。しかし SH プランは、加入者・受給者間のリスク分担を一旦遮断した上で、これを限定的な形で制御していこうとする仕組みであり、BR 制度とは異なった設計思想に基づいている。一方、実質的に SH プランとして運営されているスイスの職域年金では、任意選択部分においても終身年金化が一般的であり、わが国を含めた国際的な状況とは大きく異なっている。つまり、SH プランは、工夫次第では、職域年金において長生きリ

\*独立行政法人農業者年金基金  
〒105-8010 港区西新橋 1-6-21 NBF 虎ノ門ビル  
E-mail: n.shimizu@nounen.go.jp